

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	メリー★ポピンズ 東武練馬ルーム
施設所在地	東京都板橋区徳丸2-3-1 徳丸スクエア1F
法人名	社会福祉法人どろんこ会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

存分に楽しもう！感触遊び

<テーマの設定理由>

日々の生活の中で、身近な素材の『変化』に興味を持つ子どもたちの姿が見られます。本活動では、形が定まらない素材に触れることで、『どうなるんだろう？』という探究心を引き出し、自分の手で変化させる喜び（自己効力感）を味わえるよう計画しました。

## 2. 活動スケジュール

4月：スライム作り  
5月：粘土遊び  
6月：どろ遊び  
7月：水、氷、絵の具  
8月：水、シャボン玉、絵の具  
9月：小麦粉、新聞紙、絵の具  
10月：片栗粉、絵の具  
11月：寒天、絵の具  
12、1、2月：小麦粉、片栗粉、寒天、スライム、絵具

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ポスターカラー、ホウ酸、洗濯糊、小麦粉、寒天、シャボン玉液、ブルーシート、タライ、角かん、模造紙、砂、土、水、図鑑、本

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

毎月色々な素材を使って感触遊びを楽しみ、感触や色の変化、素材の変化に気づきながら微細遊びを発展させながら遊ぶ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

春からやっているスライムづくり：自分で材料の量を考えて入れ、自分なりの好きな感触を作ろうと考えるように。また、スプーンだけでなく手のひらで思い切り触ったり混ぜたりして感触自体を楽しむようになった。作ることが目的だった春に比べ、スライム自体の性質に関心が向き、「なんだこれ!？」と驚く姿もあった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1年間通して苦手な子たちにも楽しさを感じてほしいと強く感じていたため、注目して観察したり一緒にあそんだりした。すると、苦手な子それぞれ「泥のどろどろがいや」「服が汚れるのがいや」「みんなが興奮して遊ぶ雰囲気についていけなくていや」など“苦手”の中身が違って、それぞれに合う関わり方・展開の仕方を職員間で話して次の活動につなげるよう意識した。すると、環境や設定の変化で子どもたちの集まり方も変化が生まれ、汚れることが嫌だった子は今では絵の具まみれの手を笑顔で職員に見せてくれるようになった。